

# 展 示 発 表



日時 2月22日(土)10:00~15:00 2月23日(日)10:00~15:00

展示場所	団体名・内容等	
1階	①玄 関 男女共同参画パネルキャラバン(男女共同参画推進委員会) 書道作品の展示(書道クラブ) 【22日】環境クイズラリー受付(町民生活課)	
	②ロ ビ ー 【23日】英語絵本の読み聞かせ(英会話屋の部) リサイクル本の無料配布(図書センター) 飲食コーナー売り場(七ヶ浜町ボランティア友の会)	
	③セミナー室 アフタヌーンティーマナー講座と体験《紅茶と菓子の飲食》 (はじめてのお茶教室)	
	④町民交流室 【22日】茶席コーナー(茶の湯 雪月花) 【23日】大木田貝塚桜紀行 パネル展示・無料体験《縄文 服試着・土器パズル・土器を触ってみよう》(歴史資料館)	
	⑤町民交流室廊下 ししがはま環境大賞作品展示・環境関連PRパネルの展示 (町民生活課)	
2階	⑥キッズルーム 盆栽作品の展示《質問対応可》(盆栽・草花愛好会)	
	⑦中 会 議 室 七ヶ浜ルバーブ(七ヶ浜歴史)体験、貞山運河の歴史とカヌー を活用したアウトドア・トランペット体験(貞山運河がつな ぐ「めぐみの寺子屋」with 七ヶ浜)	
	⑧AV コーナー ⑨小 会 議 室 人権に関するポスターや人権擁護活動パネルの展示 【23日】臨時 人権相談所(七ヶ浜町人権擁護委員会)	
	⑩調 理 室 飲食コーナー(七ヶ浜町ボランティア友の会)	
	⑪軽 運 動 場 マクロの解体ショー《小さなマクロ井 提供》(たいこ茶屋)	
	⑫大 会 議 室 【23日】舞台発表	
	⑬第1・2研修室 パッチワークキルト作品の展示(パッチワーク・ヒロ) レザークラフト作品の展示(レザークラフト) スタンドグラス作品の展示(スタンドグラス講座) プリザーブドフラワー作品の展示 (プリザーブドアレンジバニール・プリザーブドフラワー 華美)	
		⑭第1・2研修室廊下 書道作品の展示(書道クラブ)
		⑮第3研修室 陶芸作品の展示(陶芸サークル)
	⑯第4研修室 【22日】ミニダンスパーティー(マargelett)	
⑰講 師 控 室 【22日】きもの着付け体験、ディスプレイ展示 (きもの着付け講座)		
⑱多目的ホール ちりめん細工作品の展示・ちりめん細工体験(ちりめん細工 おはりこや・ちりめん細工わらべ)		
⑲講 習 室 B 地球子屋フリータイム体験(ボードゲーム・手作りおもちゃ 等)・「わかるすかあ?」検定(ジュニア版)		
⑳講 習 室 A 麻雀体験(七ヶ浜健康麻雀クラブ)		



ごあいさつ

生涯学習フェスティバル実行委員長  
遠藤 浩

「第29回生涯学習フェスティバル」の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

今年度、生涯学習グループや講座の皆さんがこの一年間で学んだこと、練習・稽古したことを発表いたします。

始めたばかりの方、続けてきた方など、差はありますが、温かい心で御覧いただければ幸いです。「来て良かった、また来たい。」と思っていただけるようにと、出展者・出演者が作り上げたイベントですので、ご来場いただきました皆様にも、時間の許す限りご覧いただき、気軽にお声をかけていただき「七ヶ浜町の生涯学習」を楽しんでいただければと思います。結びに、本日のフェスティバル開催にあたり、多くの関係者の皆様にご理解とご協力を賜り、感謝とお礼を申し上げます。



お祝いのことば

七ヶ浜町長 寺澤 薫

「第29回七ヶ浜町生涯学習フェスティバル」が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

本フェスティバルは、生涯学習センターで活動する団体が一堂に会し、日頃の活動の成果を披露する芸術・文化の祭典であります。

また、ご来場いただいた皆様が新たな趣味や教養に出会い、文化的な交流を楽しむことができる場でもあります。

文化・芸術は、私たちに安らぎと潤いを与え、日々の生活に彩りを添えるとともに心の支えともなります。

皆様には、ぜひ文化・芸術の多様な感性に触れ、心豊かな楽しい時間をお過ごしいただきたいと思います。

結びに、本フェスティバル開催にあたり、ご尽力いただきました関係団体をはじめ多くの皆様に心から御礼申し上げますとともに、たくさん笑顔溢れるフェスティバルとなりますことをご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



七ヶ浜町教育委員会 教育長 須藤 清

昨年の大晦日、紅白歌合戦を観ようと、プログラムを目にしました。ジャンルを問わず音楽が好きなのですが、残念ながら出場アーティストの半分以上は2024年中に耳にしたことのない人やグループでした。テレビやラジオの時代が終わりに向かっているのだと感じました。

今、世界中の人々が、手の平に収まるほどの小さな機器を持てば、数億の音楽作品の中から、一人一人が好きな楽曲を探すことができます。この「大変化」が進んでいることにワクワク感を持ちながらも、「ツイテケルカナー」と思っています。

一方、このような時代だからこそ「顔と顔の見える関係」を大切に生涯学習の意義が深まるものと感じています。

人は常に「不易と流行」の中で選択しながら生きています。「流行」が猛スピードで進むときにはその反動として失われるものがあることを体験してきました。フェスティバルは、作品や表現を通して「顔と顔の見える関係」を豊かにしていく七ヶ浜町の「不易」だと考えています。盛會を喜ぶばかりです。

最後に、開催に尽力される実行委員長さんをはじめ委員の皆様、関係各位に感謝を申し上げます。

1階



2階

